

鴨川市第4次5か年計画の進行管理及び第2期鴨川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証について

1 趣 旨

鴨川市第4次5か年計画（以下「5か年計画」という。）の進行管理及び第2期鴨川市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「総合戦略」という。）の効果検証について、具体的な手法を定める。

2 基本計画の進行管理（※計画本文から抜粋）

この基本計画及び実施計画に位置付けた施策・事業については、行政事業レビューの仕組み等を活用し、PDCAサイクルを循環させ、進行管理を行います。

基本計画【P l a n（計画）】に位置付け推進している施策【D o（実行）】に対して、計画期間の最終年度における評価指標の達成状況を把握・検証【C h e c k（評価・検証）】し、次期基本計画を策定する際に施策の見直し・改善【A c t i o n（見直し）】を図ります。

このためには、実施計画【P l a n（計画）】に位置付け実施をしている事務事業【D o（実行）】に対して、毎年、活動指標に対する達成状況を把握し、これを検証【C h e c k（評価・検証）】した上で、この検証結果に基づいて、次期実施計画を策定する際に事務事業の見直し・改善【A c t i o n（見直し）】を図ることとします。また、検証の結果は公表し、市民への周知を図ります。

なお、実施状況の検証結果や社会経済情勢の急激な変化等によって基本計画等の内容に変更を加える必要が生じた場合は、計画期間中であっても、所要の改定を行うものとします。

3 5か年計画の進行管理

（1）5か年計画

進行管理は、5か年計画に位置付けられている全事業（344 事業）を対象として、事業シートを活用することによって行う。

- ① 進行管理の目的：効果的・効率的な計画の推進
- ② 進行管理の方針：5か年計画及び実施計画に基づく検証
- ③ 具体的な方法：基本方針及び施策ごとの事業費、活動指標
事業シートの公表
評価指標の達成度による検証（中間年度及び最終年度の実績）

（2）市民提案事業

協働のまちづくりの理念により策定された計画であることに鑑み、市民提案事業（51 事業）については、市民からの意見を聴取し、効果的な計画の推進に資するものとする。

- ① 進行管理の目的：市民参加機会の提供
- ② 進行管理の方針：かもがわ市民会議参加者等を対象に意見の聴取
- ③ 具体的な方法：市民提案事業について説明し、市民意見を聴取する
意見の次年度計画への反映

4 総合戦略の効果検証

効果検証は、総合戦略に掲げる基本目標及び重要業績評価指標（ＫＰＩ）の達成度を検証することをもって行う。また、個別の事務事業について、鴨川市第４次５か年計画に係る実施計画（以下「実施計画」という。）に基づき、進行管理を行う。

この検証結果を踏まえ、必要に応じて総合戦略及び実施計画を見直し、改訂するとともに、より効果的な政策・施策の立案及び事務事業の改善に活用する。

5 効果検証の段階

（１）基本目標の達成度の検証（政策レベル）

基本目標の達成度について、主に次の事項を把握して検証を行う。

- ・基本目標の実績値
- ・関連するＫＰＩの実績値
- ・関連する事務事業の実績
- ・地方創生への効果（人口の将来展望等への貢献度）
- ・実績値を踏まえた今後の方針

（２）ＫＰＩの達成度の検証（施策レベル）

ＫＰＩの達成度について、主に次の事項を把握して検証を行う。

なお、地方創生関連交付金を活用して実施した事業など、ＫＰＩを設定した事務事業を含むものとする。

- ・ＫＰＩの実績値
- ・関連する事務事業の実績
- ・地方創生への効果（総合戦略における基本目標等への貢献度）
- ・実績値を踏まえた今後の方針

（３）事務事業の進行管理

実施計画における個別の事務事業について、主に次の事項を把握し、スケジュール管理を行う。ただし、地方創生関連交付金を活用して実施した事業など、ＫＰＩを設定した事務事業については、（２）を含めて実施するものとする。

- ・事業の実績（内容、事業費及び財源）
- ・活動指標

6 検証時期

基本目標及びＫＰＩについては、総合戦略の中間年度及び最終年度の実績をもって検証を行い、個別の事務事業については、毎年度、進行管理を行う。

7 検証の実施機関

（１）庁内において事務事業の進行管理を行い、基本目標の数値目標及び具体的な施策に係るＫＰＩの達成度を一次検証する。

（２）産官学金労言の各分野からの外部有識者等を含む検証機関を設置し、当該検証機関により、基本目標の数値目標及び具体的な施策に係るＫＰＩの達成度を二次検証する。

8 公表等

- (1) 効果検証の結果は、市のホームページ等で公表する。
- (2) 市議会に対して効果検証の結果を説明・報告し、意見交換を行う。

9 効果検証

(1) 実施方法

P D C Aサイクルを通じて、総合戦略について、客観的な効果検証を実施する。

- ・ Plan : 数値目標・客観的な指標を設定した効果的な総合戦略を策定
- ・ Do : 総合戦略に基づく施策を実施
- ・ Check : 数値目標や客観的な指標の達成度を通じて、総合戦略の成果を客観的に検証
- ・ Action : 検証結果を踏まえて施策を見直すとともに、必要に応じて、総合戦略を改訂

(2) 検証

外部有識者等を含む検証機関を設置し、当該検証機関により、基本目標の数値目標及び具体的な施策に係るK P Iの達成度を検証する。

また、必要に応じて住民の意見聴取等を行い、又は、総合戦略の見直しの提言を行うものとする。

(3) 議会による関与

総合戦略の効果検証の段階において逐次説明・報告するとともに、意見交換を行う。

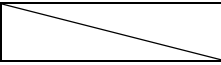
(4) 総合戦略の改訂

検証機関による検証に加え、議会における施策の効果等についての意見等も踏まえ、必要に応じ、総合戦略の改訂を行う。

・ 総合計画の策定サイクルとの関係

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
総合戦略、アクションプラン	計画期間： 平成 27～令和 2 年度の 6 年間 中間年度：平成 29 年度						計画期間： 令和 3～令和 7 年度の 5 年間 中間年度：令和 5 年度				

(総合計画)

基本構想		第 2 次鴨川市基本構想 (平成 28～令和 7 年度の 10 年間)			
基本計画		鴨川市第 3 次 5 か年計画		鴨川市第 4 次 5 か年計画	
実施計画		前期実施計画			実施計画
		 後期実施計画			